

9. 食品 部会

齋藤 孝之 部会長

9. Departamento de Gêneros Alimentícios

Presidente: Takayuki Saito

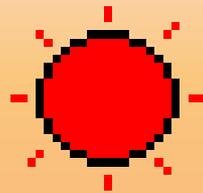
2009年上期回顧と下期展望

業種別部会長シンポジウム

ブラジル日本商工会議所
食品部会

2009年8月18日(火)

総観

	上期	下期
小売		
業務用		
外食		

全体まとめ

上期回顧

- 小売は回復傾向だが、外食・業務用は遅れ気味
- 国内市場は総じて堅調なるも輸出は不振
- 一部原材料コストアップと価格転嫁困難
- 税制(ST)や法令の影響 (Lei seca, 禁煙法)
- 新型インフルエンザ
- 低所得者向け商品好調

下期展望

- 小売は楽観的だが外食・業務用で不安
- 国内市場は楽観傾向だが輸出は不透明
- 一部原材料コストアップ予想とコスト削減努力
- 税制変更の懸念
- 消費者ニーズを反映した商品開発(付加価値・天然・低所得層向など)
- 周辺諸国への輸出

世界金融・経済危機を脱したか？

YES 6社、NO 3社

乳酸飲料

上期回顧

- 成長継続
（前年同期比+7%）
- 大手スーパー向け採算改善と訪問販売の強み
- 厳しい競合環境と価格転嫁困難

下期展望

- 上期並みの成長を予想
- 原材料価格の安定見込むも一部輸入原料の供給で不安
- コスト吸収が課題

国内家庭用食品

上期回顧

- 小売は着実に回復
- 調味料・粉飲料類好調
- 高価格帯製品への需要シフト
- 売上は前年比112%達成
- 南米周辺国とアフリカ市場の開拓
- 外食チャネル強化

下期展望

- 前年比2桁成長見込み
- 競合の激化
- コストダウン取り組み
- 南米周辺国とアフリカ市場開拓推進
- 消費者コミュニケーション強化

加工用食品、飼料

上期回顧

- 原材料価格安定
- 中国競合メーカーとの価格競争激化
- 経済危機による畜肉消費減少

下期展望

- 一部原材料値上り懸念
- 適切な価格対応によるシェア獲得
- 畜肉需要の回復を予想

輸入液体調味料

上期回顧

- 年初来不振であったが4月以降顕著に回復
- 新型インフルエンザ対応で出張往来に影響
- 消費者理解を進めることで高価格製品のトライアルを喚起

下期展望

- 年度前半に回復傾向となるも引続き動向注視
- 取り扱い店舗／企業数を上げる
- 露出度を意識したマーケティング施策を展開

食品添加物

上期回顧

- 日本向け輸出では価格対応要請が増え、採算性圧迫
- 市場ニーズ変化に対応
(オレンジからグレープフルーツへなど)
- 食品添加物ニーズが合成から天然着色料へ

下期展望

- ブラジル消費者嗜好変化に呼応した機能性食品、添加物の販売強化
(ダイエット関連など)
- 天然色素へのニーズ増大／市場拡大と輸入障壁等課題対応

健康食品

上期回顧

- 輸出健食市場は全体として不振
- アガリクス、プロホリスは一時の不振期から脱却傾向（後者は対新型インフルエンザ効果報道あり）
- アルコール類販売は好調だが税負担が重く採算性悪い

下期展望

- 既存商品の水溶化、ミクロ化など付加価値型素材開発で新規開拓
- 輸出向け製品の各国薬事関連法規対応
- 分析受託業務拡大など多角化推進

即席麺

上期回顧

- 即席麺市場は約5%拡大
- インフ価格転嫁を最小限に留め市場の成長を優先
- 北東部、C層以下が拡大し売上数量は2ケタ増
- 原料価格安定と採算安定

下期展望

- 市場は北東部、中西部内陸が牽引し継続成長
- 中所得者層購買力維持
- 成長市場向け販促と成熟市場での付加価値製品育成
- 輸入小麦供給不安とコストアップ懸念

コーヒー

上期回顧

- 経済危機で輸出は向け先各国で在庫調整が発生し昨年対比で9.5%ダウン
- 国内向けは堅調で昨年並みをキープ

下期展望

- 世界的需要縮小は想定されないものの在庫調整や信用収縮の継続から通期で7%ダウンを予想
- 本格回復は10年度以降と見込む

酒類

上期回顧

- 清酒類は大手スーパー向けが好調で推移
- 外食向けはLeiSeca、天候、経済危機の影響で苦戦
- SPのST*制(ICMS増税)と原料米の高騰が収益圧迫

下期展望

- 大手スーパー向けは日本食ブームもあり、引き続き好調を予想
- Lei Seca、経済危機の影響による外食用市場の減速懸念
- ST見直しによる増税懸念
- 管理／販促費用低減による収益確保に努力

外食

上期回顧

- 経済危機の影響で業績は昨年対比微増だが現在回復傾向
- 新型インフルエンザ対策で店舗トイレにアルコール設置、従業員にも手の消毒など徹底

下期展望

- 外食市場は回復傾向を予想
- サンパウロ禁煙条例への対応

食品素材輸出

上期回顧

- 基礎素材中心に経済危機の影響は限定的で前年比横ばい
- 鶏肉、オレンジなどブラジル産の強み(コスト、品質など)
- 新領域など投資案件減少
- 新型インフルエンザで出張往来などに影響

下期展望

- 引続き対前年で横ばいを予想
- ドル貨幣流動性が基礎素材への投機を誘発するリスクを懸念

商工会議所へのリクエスト

- 日本人出向者が少人数に限られている企業同士で生活、業務面での情報交換をしたい

以上